

## 第4回青森操車場跡地利用計画審議会 会議概要

1 開催日時 平成24年12月3日(月) 13:30～15:23

2 開催場所 ラ・プラス青い森 4階 ル・シエル

3 出席者 【委員】

小川貢、木村精郎、後藤厚子、櫻田清光、佐藤江里子、菅勝彦、  
須藤喜代行、種市勲、野澤正樹、三浦康久、森内忠良 以上12名  
〔欠席2名：猪原龍介、工藤美智磨〕

【事務局】

都市整備部理事(工藤雅史)、都市整備部次長(木村敏幸)、  
都市整備部次長(小野泰裕)、公園河川課長(奈良岡克明)、  
住宅まちづくり課長(佐々木雅信)、主幹(佐々木幸人)、  
主査(棟方康晴)、主事(長内真由美)、主事(滝口貴史)

4 第4回会議

### (1) 青森操車場跡地の土地利用の方向性について

〔配布資料：「第3回審議会における防災機能を備えた公園に関する意見概要」〕

参考資料に基づき、事務局より説明。

事務局	<p>&lt;1ページ&gt;</p> <p><u>想定する災害について</u></p> <p>1 点目は、防災という場合に私達がどういう災害を想定するかが重要。</p> <p>2 点目は、都市としての危機管理を考えたときに、青森の場合は原発など色々なことも視野に含めてはと思う。</p> <p>3 点目は、他に候補地が無いということであれば、この操車場跡地も原子力災害の避難者の受け入れの一つの候補地になるのではないかと。</p> <p>4 点目は、原子力災害は、別なところで青森市ないし県が考えるべきであって、我々市民はもっと様々な意味でここ、つまり青森操車場跡地を活用する場所として求めているのではないかと考えているので、意識は大事だが、深く議論することではない。</p> <p>5 点目は、青森の場合、絶対これを前提にしなければなら</p>
-----	--

ないという災害も想定されない、あえて言えば雪害、雪の災害だが、それと地震との複合的なことが大きい、原子力を想定してしまうと話とはとてつもなく大きくなってしまふ。

6点目は、青森の気候などを考えたときに、冬場の雪の量とその時期の大きな地震があった時に雪に耐えられるだけの構造体の住宅がどのくらいあるのか。そういった時に被災された方々が避難をする場所は十分考えなければいけない。

#### 防災機能について

7点目は、火事にあった人達がどこにも行くところがない時、生活できるような宿泊施設を備えた防災施設が必要である。

8点目は、仮設住宅を作るような場所を確保しておいて欲しい。

9点目は、防災の意識を高めていく、防災のセンターになるようなものがあったら良い。

10点目は、サンドームのような大きな体育館がもう一つ必要だということから、その大きな体育館の地下にでも備蓄できるものというのは置けるのではないか。

11点目は、防災という観点から、建物のない空間をきちんと確保しておく。

12点目は、想定される防災に一番対処できるのは広い空間であるという、そういったスペースの確保が第一。

13点目は、多目的な防災機能を持つ公園が必要であるかを考えた時、そこまでの機能が必要とは思ってはいない。

14点目は、最大限ではなく、この地域において地区において必要とされる防災機能があれば良い。

15点目は、ある程度の空間とある程度の備蓄といったものはもちろん必要、ただ、そう大々的なものは必要ないのではないか。

16点目は、今の操車場跡地の近辺の方、何も遠くの方が全てあそこに行くということではなく、近辺の方が避難するにはどれくらいの面積があって、どれくらいの何が必要かならぬかというのを話して決めた方が早いと思う。

<2ページ>

17点目は、この操車場跡地を広域避難所としてこれからどうするか、防災の関係だけで考えた場合にどのようなものを作るかという話であれば、他の施設、他の避難所と同等か同等に近いものにすべき。

18点目は、現状として避難所で対応がどこまででき、どこ

ができなくて、何をここに求めなければならないのかというのを少し整理する必要がある。

19点目は、ここにある中央の土地は非常に貴重な空間だから、そこに他の既存の施設に手を入れれば受け入れられるようなものを、あえてそこに新しく作るというのはもったいない気がする。

20点目は、この防災機能を考える上では、合浦公園など、他の施設をどの程度拡充するのかということをもとにして何か考える方が良い。

#### 公園機能について

21点目は、公園という意味では交流の場や安らぎの場であることをもちろん大切にしながらの大きな空間である。

22点目は、防災機能は公園としての機能の一つであり、大きな前提として空間を確保する、緑を確保する。

今申し上げた「防災機能について」、「公園機能について」の意見を整理すると、緑の確保、空間の確保ということで、公園としての機能はもちろん必要であるということ、また、広域避難所として指定しているということもあることから、引き続き避難場所としての機能を確保していく方が良いのではないかということである。

また、何らかの防災機能を考えたときに、多目的な機能までは必要ではないものの、ある程度、備蓄等の機能は必要なのではないのかという意見があったと受け止めている。

#### その他（公共的な施設との関連）

前回は「防災機能を備えた公園として利用」について審議していただいたが、「公共的な施設」に関連する意見もあったことから、4点ほど整理している。

23点目は、公園という機能、避難所としての機能が重要ではあるが、後のテーマである「公共利用の観点」で、実際にどのくらいの規模が必要なのかということは、実際に計画をする際には十分に考慮しないといけない。

24点目は、青森の場合、消防本部は狭そうだが、長岡市の防災センターのように操車場跡地に移す必要はないのではないか。

これは菅議長からの意見だったが、前回、長岡市の操車場跡地の利用状況を説明した際に、8,300という数字が出ており、どういった数字であるかを調べた結果を報告する。

事例（第3回審議会配付資料 資料2 他都市における操車場跡地の活用事例）の長岡市（操車場跡地事例 - 1）をご覧

いただきたい。長岡操車場跡地の施行面積は全部で約 11.5ha だが、その中の 1.5ha、つまり 15,000 m<sup>2</sup>に市民防災公園を配置している。その考え方としては、この周辺に住んでいる、あるいは日中に仕事をしている方が 10,500 人おり、この公園と周辺施設との避難地有効面積を合わせると、公園の面積を 1.5ha とした場合に全ての方を収容でできるだろうと。その場合の市民防災公園の避難者の収容人数が約 8,300 人であるという考え方であるとのことである。

25 点目は、文化面でいうと操車場跡地に、市民美術展示館に変わるようなものを市の中心のあたりに、と思ったりするということで、櫻田委員からの意見であったが、「市民美術展示館の利用状況はどうか」という質問もあったため、事務局で調べた結果を報告するが、一年間当たりの利用者は平成 23 年度で、約 117,000 人、平均すると、毎月 9,700～9,800 人程度、その月によって上下はあるかと思うが、そういった状況である。

26 点目は、普段は皆が使えるような、イベントなり、運動なりできるようなサンドームのような大きな体育館というのが青森にはやはりもう一個必要といった意見であった。

その他（交通結節点との関連）

27 点目は、目の前に線路があり、海から波が押し寄せてくると逃げる場所がなくなるので、防災も含めて、あの鉄道を何とかならないかと思う。

これについては市の素案の平面図（第 1 回審議会 資料 4 青森操車場跡地利用計画素案 9 頁）にあるとおり、市としては南北の連絡通路を想定している。

また、過去の話を上げると、東北本線を地下化できないかということで検討したことがあるが、莫大な費用がかかるということで見送った経緯がある。

その他（他の土地利用との関連）

28 点目は、残りのテーマということで、本日審議いただくテーマ「公共利用の観点から公共的な施設の建設用地として利用」、次回の「新駅設置を含む交通結節点として利用」というテーマを踏まえ、どのくらいの場所が確保できるのか考える必要がある。

29 点目は、どのような機能が必要かということ、せっかく広い地域があっても活動拠点として足が運びにくいような周辺の整備、道路等がよくなければそこは孤立した空間であり、防災の拠点にならない。

	<p>30点目は、ただ広い公園があれば良いと言っているわけではなく、あくまでも駅を含めたいいわゆる交流の拠点、そして様々な施設、何があそこがあれば良いのかという議論をした上で、残ったものは公園として、防災機能を含めた公園という意味で、広く残せば良い、という意見であった。</p> <p>以上である。</p>
--	---

参考資料に関する質疑応答  
特になし。

土地利用の方向性に関する質疑応答・意見交換

菅議長	<p>事務局からこれまでの議論について、「防災機能を備えた公園としての利用」ということで、前回の審議の内容をまとめていただいた。</p> <p>このあと「公共利用の観点から公共的な施設の建設用地としての利用について」審議したいが、文化的なものから、医療・福祉、あるいはスポーツまで、非常に多方面にわたって市民から多くの意見が寄せられている。そういうものを全てあげてしまうと収拾がつくのかと心配である。</p> <p>公共施設とは、事務局によると、基本的には既設の施設の建て替えという考え方であり、また、議論の中では、「あの建物、この建物を建て替えたら良い」という議論になるかと思うが、具体的な施設名を結論として決めると、あたかも移設計画が決まったかのような印象を与えるので、具体名ではなく、例えば、「医療施設」など、やや表現としては抽象的になるが、まとめの段階ではそういう扱いにしたい。</p> <p>まず、私のやり方で良いか意見を伺いたい、将来の青森市にとって最も欠けているもの、どうしてもこれがないと、ならないというもの、将来的にこういうものがあるというものについて、建て替え需要というものはあるが、このことを意識して話をしていただきたい。</p> <p>そうしないと、まとまりがつかなくなるのではないかと思う。</p> <p>よって、思い入れのあるものなどのご意見をいただきたいが、どうか。</p>
小川委員	<p>私は専門家でも知識があるわけでもないが、過去3回審議会に出席してはじめて、北側、西側、東側、ダストの市の所有地、芝の県所有地、こういうものがあるというのが分かった。</p>

	<p>過去 3 回審議した結果、感じたこととしては、1 番目には、市民の意見を基に議論、審議したい。</p> <p>2 番目としては、防災機能の公園として審議していきたい。</p> <p>3 番目としては、新駅設置と交通の利用、これは前回の説明にあったとおり、私は（操車場跡地を）上から見たが、複線で 4、5 本の線路があり、観光通りから 2 本線になる。</p> <p>私は、専門家ではないが、新駅は東側の方に持っていかなければ、市の予算などでは（難しいのではと思う）。</p> <p>また、あの雑草地が市有地だと知っている人がどの程度いるか疑問である。</p> <p>前回も話にあったが、線路だとか、電気だとかの関係で県の所有地のあたりに（駅を）持っていければ良いが、予算の関係で難しいかと思う。</p> <p>本当はあの線路が地下を走ってくれば全部往来できるので一番良いと思う。</p> <p>あるいは高架にしてもらえば良いが、地下化であれば、先程説明があったが、非常に金額がかかるということで、そこまで話をしても仕方がないかと思う。</p> <p>ネガティブな意見なのかもしれないが、今まで私はあそこを通っていて、不平も不満もない。</p> <p>よって、例えば、市が所有するダストの部分に草が生えているときには皆で月に 1 回とかボランティア活動を行うとか。あるいは、ダストの部分を芝にするとか、ここは防災にした方が良くと思う。</p> <p>今まで色々意見が出たが、（今回を除くと）あと 4 回しか会議がないので、前回、野澤委員が締めくくっていたのと同じ意見になるかもしれないが、市民の意見があることから、これを基に防災と公園と新駅、これを重点的に審議して進めた方が良くと思う。</p>
菅議長	<p>防災公園については前回議論しており、新駅・交通については次回に踏み込んで話をしていきたい。</p> <p>今日は、公共的施設として何が必要か、これこそあったら良いといったものについて話していきたい。</p> <p>他にないか。</p>
櫻田委員	<p>事務局の方に聞きたいが、前回、私は防災センター的なものがあればという話をした。</p> <p>市役所でいうと危機管理課というところがあり、そういったところで、私も身近な防災の対策について聞いているが、いわゆる防災センター的な、青森市の防災の危機管理の対策</p>

	<p>を機能させているというものはどういったものがあるのか教えていただきたい。</p> <p>私の言っている防災センターにはそういったトータル的なものがあれば機能しやすいと思って申し上げているのだが、防災に関わる市が組織的にとっている状況をお知らせいただきたい。</p>
事務局	<p>青森市の場合は、災害が発生したときの災害対策本部は、基本的には本庁舎である。もう一つは、それを補完する意味で消防本部ということになっていると聞いている。</p> <p>( 青森市の地域内に災害が発生し、又は発生するおそれがあるため応急措置を円滑かつ的確に講ずる必要があると認めるときは、市長は、青森市災害対策本部等の防災組織を設置し、青森市防災会議と緊密な連絡のもとに災害応急対策を実施する。)</p> <p>意見にあった防災センターについての議論については、現状では何も無いという状況である。</p>
櫻田委員	<p>今の話だと市の本庁舎が中心になり、消防本部とつながるということか。</p> <p>前回、防災の観点からということ考えたとき、防災機能を持ち、有事ではなくても普段から色々と防災の意識を高めていく、そういった観点での建物があっても良いと思って申し上げた。現段階の状況については分かった。</p>
菅議長	<p>他にないか。</p>
木村委員	<p>青森に足りないものというか、ものすごく漠然としたものであるが、何項目か自分なりにはある。</p> <p>まず、文化的な施設がまちなかに少ない。車で郊外に行かないとない。身近なものではないという気がする。</p> <p>例えば、先程、美術展示館の年間の入場者数の話があったが、これは現状のことであって、もっと行きたい人はいると思う。私も年に1回会場を借りてやっているが、半年以上前でなければ予約がとれない、抽選にはずれるとできない。こういう状況である。また、こういったら失礼かもしれないが、美術館自体の作りも美術展示には向いていないのではという気がする。</p> <p>個人的な話だが、昨日も銀座で個展をやっており、200件以上もあるそうで、3年以上も予約でいっぱいとのことであった。もっと文化的な施設に力を入れていっても良いのではと思う。</p> <p>あとは美しい街並みや雪活用の施設、交通弱者のためのま</p>

	<p>ちなかの交通、観光客も少ないので、もっと人を呼んで良いのではないかと思う。</p> <p>それに付随して経済の活性化がまちとしての力にどんどんなっていくという観点で、あの場所を考えて良いのではないかと思う。</p> <p>当然、施設は防災公園などを加味して考えていけば良いと思う。</p>
菅議長	<p>文化施設や美しい街並み、そういったイメージの発信場所として考えても良いのではないかという意見だったと思う。</p> <p>他にないか。</p>
三浦委員	<p>木村委員の話の最後の方に、経済の波及効果という話があったが、これは非常に重大な要素だと思う。市長から第1回目に話があったように、操車場跡地を利活用することでいかに青森市というものをアピールするかが大事なわけで、その一つとして経済の波及効果をこの跡地の活用によって計っていくということは千載一遇のチャンスだと思うので、それを大前提に考えていくことが必要である。</p> <p>私の考えを述べるが、市有地だけでなく、県有地も併せて検討していくということを前提に話をしたい。</p> <p>防災ももちろん大事なわけだが、施設としては、大きなキーワードとして「健康と福祉」ということを大事に考えていきたい。</p> <p>具体的には、青森市は県都ということもあって、いろいろな県の施設もあるが、医療施設、それから保健や福祉の施設、これらを全てこの場所に年次計画を立てて集約していく。</p> <p>これはもう20年、30年も前から色々なところから意見が出ているが、なかなか実現しにくい状況でここまで来ている。</p> <p>例えば、県病にしても30年以上建っており、非常に手狭になっている。市民病院も同様である。医療の日進月歩ということを考え、充実した医療体制を築くためにも、病院を一箇所にとめる。</p> <p>県病と市民病院が同じようなことをやっているという現状もあるので、役割分担が必要なのか、二つを一つにするということが必要なのかという議論はもちろんあるが、今後はそういうことも考慮していく必要があるのではと思っている。</p> <p>以上である。</p>
菅議長	<p>他にないか。</p>
佐藤委員	<p>青森市にとって欠けているものはたくさんあるが、(子を持つ)親の目からしては、あの広い土地には本当は動物園が欲</p>



	<p>しい。どこの県にもあるのに青森には動物のいる公園がないので、一つ欲しいと思う。</p> <p>青森は肥満児が本当に多いということが食育をやっていて感じているので、冬でもスポーツのできる施設があれば良いと切に思う。</p> <p>欲を言えば大きなコンサートができる建物。文化会館ではなく、サンワアリーナ、スケート場でもやっているが狭く、大きなコンサートなどは若い人が他の場所に行ってしまうので、青森に来て欲しいと思っていた。</p> <p>公園としての機能についてだが、西側と東側にはすごく広いスペースがあるので、ウォーキングのできる防災機能を持った公園は、そちらでも十分出来ると感じていた。</p> <p>加えて、せっかく駅ができるのであれば、お店がないと駅があっても人が集まって来ないので、ある程度の商業施設、ある程度人の呼べるお店、例えば、あの辺にはスーパーがなく、高齢者の方は大変かと思うので、ちょっとしたスーパーなどがあれば良いと思う。</p> <p>以上である。</p>
菅議長	他にないか。
種市委員	<p>先程美術館のことが出たが、青森市にある公共の建物はほとんど県立のものである。例えば、図書館にしても何にしても県立ばかりで、市民が本当に自由に利用できるような公共の建物というものはない。特に美術館がそうである。</p> <p>先程木村委員が言っていたが、あの美術館（青森市民美術展示館）はすごく利用者が多い。先程11万人という数字があったが、本当はもっとある。また、使い勝手は非常に悪い。</p> <p>美術展示をしたり、音楽を練習する場所がないので、そういう展示や練習することのできるような会場が必要である。</p> <p>また、私は青森の図書館が近所にあるときはよく行ったが、アウガになってからはほとんど行かない。あのアウガというのは風前の灯火だという感じがする。</p> <p>私が言いたいのは、美術展示館や音楽の練習できる、発表できる場所にするのと同時に図書館をもっと充実させて欲しいということである。</p> <p>参考までに、スイスのチューリッヒという駅があるが、駅の前は常設展示の美術館になっており、その上には飛行場がある。青森でもそういう市民が自由に使えるような美術館をぜひ作って欲しい。</p> <p>古い話で申し訳ないが、今の美術展示館を作るときは、建</p>

	<p>物が全然なかったときであった。我々はいれを賛成したのだが、今となってみれば使い勝手が悪い。</p> <p>私はこの美術館については、ぜひお願いしたいと思っている。</p>
菅議長	他にないか。
櫻田委員	<p>私も美術館については思い入れがあり、前にも申し上げたのだが、本当に使い勝手が悪いのと場所が悪い。</p> <p>(青森市民美術展示館は)まちなかにはあるが、車が置けないので、利用者からするとそういった意味で使い勝手が悪い。</p> <p>何も県立美術館とは競合するものではなく、市民が気楽に利用できるような展示館で、個展も開けるといった機能があれば良いと思う。</p> <p>もう一つ、公園には人が集まってきて欲しい。高齢化時代、シニア時代になってくると、公園でレクレーションしながらゲームをしたり、ひなたぼっこしたり、そうやって人が集まってくる公園、その中で絵を見られる展示館があると、公園に一つのバリューが出てくると思う。</p> <p>旅行して海外に行くと、大きい公園には美術館が必ずある。そういった意味で、セントラルパークの木もだいぶ大きくなりつつあり、緑が増えてきた。あの中に、レクレーションに来て、交流に来て、そこでさらに、あまり高度でなくても良く、身近なもので良いと思うが、芸術に触れて。</p> <p>そういった味のあるものにしていく意味では、美術館の存在価値が十分あると思っており、非常に思い入れがあるものとしては美術館である。</p>
菅議長	<p>先程、木村委員から文化施設が身近にないという発言があったが、雲谷にも美術館(青森公立大学国際芸術センター青森)があるにはある。</p> <p>今話にあったのは美術展示館の話であったが、場所がよくても、使い勝手が悪いということで。また、雲谷にもあるが、やはり遠すぎるということだと思う。</p> <p>他にないか。</p>
福士委員	<p>近所に住むものとしては、市民美術展示館なり、音楽ホール、図書館などが色々建つことは非常に嬉しいことだが、一つ議題の件に関して確認したい。</p> <p>ここに必要な公共の建物というものをこの時間で議論して決めていかなければならないのか。</p>
菅議長	この時間に決めるのはおそらく無理だと思う。

福士委員	<p>何の建物が必要かということについては、実際はどこかのコンサルか設計事務所、大学の研究機関などに委託して、利用状況などを調査し、どんなニーズがあるかを持って本来決めていくべきことだと思う。それを今論じて決めていくのはすごく危険な気がする。</p> <p>音楽ホールに関しても、プロを呼ぶホール、クラシックなのか多目的なのかでも違う。市民目線で見ていった場合でも、足りないものといえば、セミプロの方とか、音楽教室を開いているピアノ教室の方とか、利用する方によっても違ってくる。また、大規模ホール、中規模ホール、小規模ホール、レッスン教室など練習のできる場所といったことで、すごく大規模な建物になっていく。</p> <p>そこら辺の詳細な議論なくして、あれがあったら良いなという議論はとても危険だという感じがしており、もう少し本気でこの（審議会の）場所で決めるのであれば、分科会という形で関係者の方を集めて議論を深めていかないといけないという気がしている。</p>
菅議長	他にないか。
野澤委員	<p>冒頭に菅議長が言った方向性で大変良いと思う。今すぐここにあれがなければダメとかではなかなか議論にならない。</p> <p>皆さんの意見をヒントとして、結果としてまとめれば、福士委員が言ったような形になると思う。決して福士委員は具体的にこれが良いとかあれがダメとかそういうことを言っているわけではないと思う。</p> <p>やはり進め方とすれば、議長が言っているように、どういう方向性であれば良いかを出すべきであり、参考にする軸としては、操車場跡地の基本的な利用構想（第2回審議会 参考3 1 平成9年青森操車場跡地利用構想）を策定したときの文言が今でも脈々と流れていることから、あえて読むこととする。</p> <p>&lt;3ページ&gt;</p> <p>「A．都心ゾーンのオアシスとなるみどりのセントラルパーク」</p> <p>市街地中心部では「緑花」空間が不足し、「青森」という名前に比べて緑が乏しいとの印象が強い。本地区は、近年その重要性が高く認識されている防災機能、さらには景観にも配慮しつつ、既に整備されている遊歩道緑地や周辺の公園等とネットワークを図り、「青い森」の都市を象徴とする緑とオープンスペースの拠点とする。</p>

「B．市街地全体の利便性を強化する交通結節点」

東北本線で南北に分断される市街地中心部と新市街地間のアクセスを大幅に強化し、国道4、7号線を中心に運行するバス交通の南方との接近を図るバスターミナルの配置、新駅設置による在来鉄道の有効活用により、市街地全体の利便性の向上を図る。また、中心市街地の積極的活用を図る交通拠点とする。

次に、C、ここが今の議論になるかと思う。

「C．どこからでもアクセス容易な交流拠点」

市街地の中央にあることや交通利便性の向上が図られることから、市内外から幅広い人々が集まり、文化活動や生涯学習などをはじめとする多様な交流が展開できる拠点としていく。

<4ページ>

「D1．健康福祉：誰もが都心生活を楽しめる安全快適ゾーン」

周辺に立地する総合福祉センターや福祉プラザなどの福祉公共施設との連携を図りつつ、高齢者や障害者が雪の障害に悩まされることなく、コミュニティ豊かで安全に安心して都市の利便性を享受でき、将来の高齢社会を先導する地区を形成する。

「D2．資源循環：資源・エネルギー循環モデルゾーン」

自然豊かな本市の環境を未来に引き継ぐ環境共生型の都市を先導する地区として、資源・エネルギーを有効に活用し環境負荷の少ない資源・エネルギー循環システムを構築する。

このAからDの文言は、今でも市の都市計画の中に流れている基本であり、青森操車場跡地についてもほとんど異論はないはずである。

この延長の中で、会議所も様々な意見を引き出して利活用の話をしているわけだが、今の公共の施設というところでは、次回話す新駅等も、人の集まりやすいものになるということを前提としながら、宝である跡地は文化活動や生涯学習などをはじめとする多様な交流が展開できる拠点としていく。

このこと（青森操車場跡地利用構想）は平成9年に策定され、十数年間足踏みしているという状況であり、間違った内容は一つもない。

したがって、やはりここには文化活動や生涯学習などをはじめとする多様な交流ができる拠点。

	<p>その中の一つとして、例えば、市民美術展示館、棟方志功記念館をどうするか、それから関野準一郎さんの版画。それら諸々を生かしたものを具体的に話せば角が立つが、総論とすれば、文化活動や生涯学習などをはじめとする多様な交流が展開できる拠点で、なおかつ、コミュニティとすれば、非常に老朽化していて、現在でも改築の最中である中央市民センターなど、そういう機能をあそこにまとめていくのが一番良いのではと思っている。</p> <p>( 青森市中央市民センターは9月30日まで耐震改修工事をしてしたが、現在は、改修工事を終えている。)</p> <p>私のイメージだが、まちなかにある公園であって、施設的なものがあるものというのは、出張でたまに行く札幌の中島公園にある「kitara」(札幌コンサートホール)である。中島公園に行けば、コンサートが開かれている、それから展示会もできる、自由に使える。</p> <p>市民図書館の移転の話もあったが、あれは立派な効果を生んでいるので、そのことについては個別の議論の中で、考えていかなければならないと思う。</p> <p>トータルのイメージとして、何箇所も都市をあちこち見てきた中では、札幌が作った中島公園にある「kitara」のイメージがエキスとして必要とっており、基本的には、文化活動や生涯学習などをはじめとする多様な交流が展開できる拠点ということがいいと思う。</p>
菅議長	<p>利用構想に既に網羅されているという指摘であった。他にないか。</p>
須藤委員	<p>これまで意見を聞いてきた中で、野澤委員の意見が大変良い意見だと思った。</p> <p>せっかく防災公園というものができるのであれば、私も一つ要望したい。</p> <p>青森市役所には危機管理課というところがあり、そこが防災の拠点になっているということである。職員はだいたい10人もいないくらいの小さいところであるが、防災公園ということで施設や建物が建つのであれば、そこを防災拠点として欲しい。</p> <p>各町会が市の要請によって自主防災組織を作っているが、700 いくらか ( 青森市の町内会数は、青森地区 374、浪岡 37 の計 411 町会 ) のうち、まだ 19 パーセントしか作っていない。</p> <p>( 通常、自主防災組織については世帯数から算出しており、その組織率は平成 24 年 11 月 26 日時点で 31.91%、町内会数</p>

	<p>から算出すると 26.5%である。)</p> <p>それだけ指導をしてくれる方がいないということである。</p> <p>私の町会は自主防災組織を作っており、毎年避難訓練などを行っているのだが、やることについては市の方ではノータッチで、町会でやってくださいという形であることから、そうした指導をする方を置くところを作っただけであればと思っている。このようにすることで、青森市の自主防災組織の加入率もかなり上がっていくのではないかと考えている。</p> <p>新しく自主防災組織を結成する場合に市の方から来るものは、規模にもよるが、消火器 5 本、ヘルメット 5 個、それから担架 1 個などが供与される。ただ、それだけで防災訓練をやってくれといわれてもできるものではない。</p> <p>よって、せっかく防災公園ができるのであれば、その一部にそういう組織を市として考えてくれればと思っている。</p>
菅議長	他にないか。
後藤委員	<p>美術館や文化活動、生涯学習の話があり、高齢化ということに関連して健康福祉という話もあったが、高齢化だけでなく、少子化ということへの対応も含めて考える必要がある。</p> <p>具体的な施設ではないが、地域における包括的な子育て支援であったり女性の再就職が難しいということもあるので、一時保育や幼児保育、あるいは今は 3 年生以下となっている学童保育に関しても、片親の家庭が多かったりということもあるので、交通結節点という形で駅ができるという点と併せて就労支援につながるようなものも議論していく上で考えた方が良くと思う。</p>
菅議長	<p>子育て支援などの施設も必要だという話であった。</p> <p>森内委員いかがか。</p>
森内委員	<p>小川委員が、橋の話や地下化の話、アクセスの話をされていたかと思う。</p> <p>施設の話では、美術館が欲しい、子育て支援の施設が欲しい、図書館が欲しいなどの意見が出ているが、青森市内には、十分なコンサートホールと言えるかどうか分からないが、施設はある。図書館も県の立派な図書館がある。</p> <p>やはり、ハコはあるが美術館などアクセスが悪い。都市としてコンパクトな形成をしていくうえで、大学も山の上にある。</p> <p>この土地を生かすということを考えていく上では、アクセスを良くする必要がある。場所は良いが、分断している線路をなんとか工夫をして、分断されているまちをくっつけるこ</p>

	<p>とを考えてから、福士さんが先程お話されたように施設を作っていけば良い。</p> <p>今大事なことは、この土地をまちにくっつけていくことである。一つの面にしていかなければ都市計画として難しいものになってしまう。アクセスが悪くなると、山の上の大学とか、山の上の美術館とか、遠いアリーナだと同じようになってしまうので、それを危惧している。</p> <p>まずは、この土地をなんとかフラットにつなげて一つのまちにする。そういうものを議題にあげたら良いのではと思っていた。</p>
菅議長	<p>交通のアクセスの問題は、利用構想の中にもあり、次回、新駅のことも含めて交通について議論したいと思っている。</p> <p>市の方で考えているのは、歩道橋程度のものを考えているようだが、そうではなくて徹底的にやるべきだという議論が必要であれば、次回でどうか。</p>
森内委員	<p>かまわない。</p>
菅議長	<p>この次は交通をメインに話をすることにしてるので、今回はここにはこういうものがふさわしいという話をし、次回交通の話をしながら、もう一回戻って整理しなおすという手順を考えている。</p> <p>交通についてはこの次にやりたい。</p> <p>他にないか。</p>
須藤委員	<p>この次に、交通関係のことをやるということだが、東北本線については、県庁の間、八甲通り、あの辺りから高架になってきていると思う。</p> <p>あれは高架になっているのか、事務局に聞きたい。</p> <p>それによって考え方が変わってくるので、少し説明をお願いしたい。</p>
事務局	<p>詳しい話まではわからないが、一般的に言う高架ではない。</p> <p>貨物専用で使っている線路など、線路が何本かあるが、そういったことから若干駅を出て上に上がってまた下りるのだが、一般的に言われる、立体交差の高架、東京などに見られるように連続しているものとは違うと考えている。</p> <p>交通の話は次回ということだが、参考までに、線路の地下化の話があったので説明する。</p> <p>10年ほど前、まさに森内委員の意見のように、私たちも線路によって南北が分断されている状況、これがうまく改善できれば、南北が一体となった土地として利用できるということで検討したことがある。</p>

	<p>先程の担当課長の話では、事業費が多いという話だったが、数百億程度かかるということは一つの問題であった。</p> <p>もう一点としては、(青森県道 27 号)青森浪岡線があるが、堤川を越えてあそこより東側からは川をくぐってこないと地下化できないということがあるので、まずその制約があった。</p> <p>今のヤード跡地を地下でくぐっても、旭町の地下道は下に行けるが、駅のすり付けを考えたときに、浪館の踏み切りの手前で上がってこないといけない。そのままいくと、海の中に駅を作らないと接続しない。</p> <p>これらの問題があったことから、数百億をかけても実際地下に潜る線路の長さは 1km～2km 程度で、これは事業としては少し厳しいというのが当時の検討状況であった。</p>
菅議長	<p>高架についてはどうか。今は潜る話であったが。</p>
事務局	<p>高架については先程話した川を超えてきているところが既にフラットで事業化されていることもあり、それを全部上へ上げてくることの方が地下を潜ることよりも事業効果としては厳しいという結論であったと思う。</p>
菅議長	<p>今回はあまり交通の話进行深入すべきではないと思うが、参考としてはよくわかった。</p> <p>皆さんからいろいろな話を聞き、いくつか具体的な名称が出てきている。</p> <p>野澤委員からは、具体的なものではないが、むしろ目指すべき方向性をもう一度確認する必要があるというご意見があった。</p> <p>これをどうまとめていくか。</p> <p>もう少し議論するか、それとも、ある程度今日は意見が出てきたので、どうすればまとまるのかということを考え、次回なりその次にもう一度皆さんに掲示するということにするか。</p>
福士委員	<p>森内委員の意見は私も大賛成だが、交通の話は次回ということにする。</p> <p>本来ならば必要な諸機能は線路の北側で対応できれば一番良いと思う。市街地活性化だとかの観点で、わざわざ高架にして南北をつなげなくても。</p> <p>青森市の市街は線路より北が中心街で、それが郊外型ショッピングセンターや自動車の普及により、段々郊外化が進んできたわけであるが、必要な美術館やホール、そういったものが北側に収まるのであれば一番良いと思っていた。</p> <p>そうすると、ここに何が必要かという考え方ではなく、都</p>



	<p>市計画全体で見たときに、ここを中心としたまちづくりが良いのか、それとも現駅、新町通り、そういった中心街を中心とした公共施設整備が良いのか、その2点を考えた方が良いのではないかと思う。</p>
菅議長	<p>他にないか。</p>
三浦委員	<p>どういう施設を作るかということは色々と議論が出てくると思うが、先程話があったように、まずはアクセスである。</p> <p>別に跡地の近辺にいる人だけが（施設を）利用するわけではないので、そこに行くのにどう利便性が保たれていくかということだと思う。</p> <p>先程は、アウガ、市立図書館の話があったが、松原から駅前に移転する際も、松原近辺の人からはすごい反対があった。</p> <p>また、だいぶ古い話であるが、県立図書館が長島から今の場所に移る際も、同様にあの辺の人達からは強い反対があった。</p> <p>やはり近くにあったものがなくなれば不便になることから反対があるのは当然だが、新しい施設に行くのにどう行くのか、車がある人は良いが、歩いて行く人は大変だという思いがあつての反対である。</p> <p>アウガにできた市民図書館は、あそこができたおかげで、高校生・中学生の人の流れが変わったと思う。特に、電車通学をしている高校生が電車の待ち時間を、これまで駅近辺でたむろしていたのが、図書館で本を読む、勉強するなど、そういう状況になり、私は非常に健全的になってきたと思う。</p> <p>何を作るにしても、あそこに行くまで移動をどうするか、道路も必要だろうし、駅も必要だろう。それによって経済が活性化すればもっと良い。</p> <p>もう一つ。施設は何を作るにしても、関連する施設が連携するような施設をここに集約するという考え方で良いのではないかと思う。</p> <p>やや貧弱であっても新しいものを作る、ということも大切な観点かもしれないが、それを言うと何もかもあそこにもっていけば良いという話にもなり、何を選択するかという話も出てくる。</p> <p>今あるものは今あるもので、建て替えをするなり、利用の方法を変えていくかという議論も、それぞれのところで必要になるかと思う。</p> <p>今操車場跡地の議論ということになると、関連する施設との連携が出来るような施設が必要ではないかという気がして</p>

	<p>いる。</p>
菅議長	<p>今まで出たものを全て個別に配置するとしたらあふれてしまう。今話があったように連携するなり、既にあるものとの関連を考えるとじっくりくる。</p> <p>防災センターの機能、文化施設、主に議論で出ているものとしては展示館をイメージしたもの、音楽関係のもの、他にはスポーツ関連、医療、福祉、保健、といったふうに様々なものが出ているが、それをある程度関連付けることは今の技術では可能だと思う。</p>
野澤委員	<p>議長が話す前の意見だが、まず、文化施設的な、公共利用的なものが先立つのか、新駅が先立つのかということについては、一緒だと考える。</p> <p>結局、先程極端な話として、フラットにする、高架にする、地下を通すという話があったが、あそこがフラットになるのであればあそこに新駅はいらない。</p> <p>新駅については、今の青い森鉄道を含め、あれがあるからあそこに新駅があるのであって、その新駅をさらに使い、活用するために公共的なもの、さらに南北分断を（解消）するアクセス、総合的な都市交通というものを考えるイメージでの新駅である。</p> <p>それをフラットにしたら新駅なんていない。そこは頭を整理してかからなければならない。</p> <p>よって、我々が次回話す新駅にしても、それはすぐには決められないが、県の施設があることから県民を含めた、特に将来に渡って住んでいく我々市民とすれば、あそこに何があれば良いのかということを考え、その利活用を踏まえて、南北の出入りを良くすることを考えなければならない。</p> <p>先ほど話したように、そのイメージとしてはエネルギーを意識した新しいモデル的な一つのまちづくりの拠点をイメージしたトータルでの青森操車場跡地であり、総合的な都市計画の中で、施設の配置の中で、これからの統廃合、建て替えを含めてどうなのかということである。</p> <p>平成9年くらいに作成されたイメージの公共的な言葉でいけば、文化活動や生涯学習や、今回、話が出たような健康、福祉に関するようなものがあれば、なおさら利便性を求めてあそこに新駅が必要であるという流れであるということをも我々は共通認識として持たなければならない。</p> <p>その上でさらなる議論をしていきたい。その辺を少し整理していかなければ。</p>

	<p>議長がまとめようとしたことになるが、私は皆さんでもう一回大いに議論をすれば、おそらく2、3つ、健康、福祉、文化施設、生涯学習的なものというような形になる。</p> <p>なんなのかということは、この委員会ではなかなか決められないが、雑談ではなく、審議会であるので、委員として言葉として出たことはおおいに記録してかまわないと思う。</p> <p>もっと議論した方が良いと思う。</p>
菅議長	他にないか。
木村委員	<p>私の認識が間違えていたのかもしれないが、あの場所に新駅を作る、作らない。実際誰が作るか、青い森鉄道だと思う。</p> <p>その青い森鉄道が新駅を作る条件としては、今、話した内容なのか。</p> <p>それを皆さんで認識した上で、話を進めようというのは初めて聞いた。</p>
野澤委員	<p>それがないと新駅ができないとか、新駅があるからそういうものを建てるとか、それは一緒に考えなければならないということである。</p>
事務局	<p>市の考えを話すが、バスの路線の再編なり見直しをしていく中で、その大きな考え方としては、「青森市総合都市交通戦略」(第2回会議 資料3 10)がある。</p> <p>その総合都市交通戦略の中では、都市内交通として、今は、青い森鉄道になったが、操車場跡地への駅の立地については、当初から考えていたことである。</p> <p>青い森鉄道になって、野内駅は移設という形で建設し、今は筒井駅を建設している。</p> <p>その建設のスキームは、国から補助金をいただき、県と市もお金を出してそれぞれ3分の1ずつの負担ということで建設している。</p> <p>この操車場跡地の新駅については、まず土地利用のあり方が決まっていなかったことから野内駅、筒井駅とは同じようには考えられないということで、その事業の枠の中には組み入れられなかったということなので、若干、野澤委員が話した部分とは違うが、そもそも将来の都市内交通を考えたときに、青森市はやはり冬のバス路線の定時化がなかなか雪の関係で難しいということもある。</p> <p>あと、東青森駅から青森駅までの間の距離が長いということもあるので、元々、総合都市交通戦略の中では、あそこに駅は必要だということでやってきた。</p>
野澤委員	もう一度言うが、あくまでも新駅は必要というのが市の基

	<p>本的な考えである。</p> <p>ただ、そのときに必ず十分に考慮しなければいけないのは新駅の利活用案として様々なものを考えようという話があるということを行っているだけで、今、事務局が言ったように、市の総合都市交通戦略の中での交通体系の中では位置づけられているということである。</p>
菅議長	他にないか。
櫻田委員	<p>今回の審議会は3つのことがテーマになっている。</p> <p>今は交通の話になっているが、これは次回審議するという話だった。</p> <p>公共的な建物、建て替え需要ということで、何点か話が出ている訳であるが、そういった中で、ここの審議会でそういう話があったからといって、それをここで決められるという問題ではないと思う。あくまでも審議会というのでは、こういう話があったということで答申をする訳である。</p> <p>だから、最終的に美術館にする、生涯学習の支援センターを作るなどは、ここでは決まらないと思う。</p> <p>議長が話した前提の中で、建物とすればどういうものがあるかという話を今日は深めていった方が良くと思う。</p> <p>それを利活用するために、一つ交通結節点、それはまちづくりにつながっていくと思うが、あそこを一点とらえて、まちづくりをどうしようかということには発展し得ないと思う。この広い青森市で。</p> <p>今のヤード跡地の利活用を効果のあるものにするためには、交通結節点としての駅が必要だという話を次回しようということだろうから、今日は、公共的な、建て替え需要を前提としたそういう建物について、まだ時間があるから、さらに皆さんで意見があれば、それを出していく。</p>
菅議長	<p>交通については、次回詳しくやる。そういったことは頭におきながらも、ヤード跡地は貴重ではあるが、狭い空間である。</p> <p>我々としてはあれもこれも欲しいというのは言うまでもないが、その中で、特にということはどういうことが想定されるかということの問いかけをした訳である。</p> <p>もちろんまだ時間があるが、出していただいて、もう少し集約する、そのようにやっていきたいと思うので、今日はどんどん、こういうものがあって然るべきだという意見をいただきたいと思う。</p> <p>他にないか。</p>

野澤委員	<p>先程、防災センター的な機能というところで、櫻田委員が言いかけて止まったので。</p> <p>私はその辺は、前回の防災公園、防災機能の延長の中で、どこまで必要なのかと思っている。</p> <p>あくまでも前回の議論の中で終わりかけた話かと思う。</p> <p>というのは今、市庁舎を建てるといって新しいセンター機能などがあれば良いのかという気がしたりしている。</p> <p>あくまでも公園という一つの中で考える施設というものは、防災のような建物は、前回結論は出していないが、ここ（操車場跡地）にあるべきではないと思っている。</p> <p>文化的な、後藤委員が話したような、生涯学習イコール子育て支援を含めた、市民が喜ぶようなものを含めて、ちょっとした文化施設とか、広げて美術展示館みたいなものなどを考えると、かなり広くなってしまうが、他の今ある場所を視野に入れてというような、バランス関係でやっていくのではないかという気がしている。</p>
菅議長	<p>他にないか。</p>
三浦委員	<p>前回か、前々回だったか防災の議論の中で、操車場跡地近辺の人達が、利用できるような、現実的にはそうなのだろうが、他にも防災拠点か、公園などを利用したものがあるということで話があったが、確かに、防災機能については、遠い場所の人が行ける訳ではないし、近辺の人が活用するという観点でよろしいとは思う。</p> <p>防災的な機能を強化するということであれば、青森市に足りないものをこの際に拠点として設置すべきではないか。</p> <p>防災センターなどはその大きな一例かとは思うが、防災センターそのもののイメージがあまりまだはっきり頭に入っていない部分があるが、なんとなく必要なかという気もするが、その他の機能を持った施設については、あの近辺だけでなく、市民全体が活用できる施設という観点が必要なのではないかと思っている。</p> <p>そういった意味で、先程申し上げた健康と福祉というキーワードをもっと大きく考えていく必要があるのではないか。</p> <p>他の文化施設などももちろん必要だろう。ただ、今ある施設の活用との兼ね合いもあるし、健康と福祉についても既存の施設はある訳なので、それをどう集約していくか、そこにやはり各保健・医療・福祉のそれぞれの機能を持った施設との連携、それが今は非常に足りないと思う。あちこちにバラバラになっているので。</p>

	<p>それらを一つの場所に集約して、相乗効果を高めていくという考え方が必要だと思う。</p> <p>先程、エネルギーという話があったが、青森市にも大学が複数あるが、新エネルギーを研究している大学というのは市内にはない。弘前大学が、新エネルギーについては、旧市民図書館を利用し、借りて研究をしているが、あのような（新エネルギーの）機能もこの際、市有地、県有地を含めて設置していく、研究機能というものも必要なのではないかと考えている。</p> <p>前に廃案になった（青い森セントラルパーク低炭素型モデルタウン）構想の段階では、大学機関の研究というものの一つの拠点にするという構想もあったが、あれを是非今回も採用していけば良いかと考えている。</p>
菅議長	他にないか。
佐藤委員	<p>（操車場跡地の）北側の方はアピオ、総合福祉センターなどの公共施設が結構あるので、もし増やすとすれば美術館とか文化施設かと思っている。学校とか保育園などもあるので、そういうのもあれば便利かと思う。</p> <p>南側は住宅地が多いので、公園をそのまま残して、公園として広く活用できるところにしておいた方が良くと思う。</p> <p>それから、もし、駅とかを作るのであれば、青森は雪が一番の問題なので、あそこから市役所まで歩いていけるような融雪があった方が良く。私は国道の融雪歩道にも関わったので、ああいう感じで、冬でも歩いていける融雪の歩道というのが、市役所から駅に着くような少しの距離なので、歩いていける歩道というのは是非作って欲しいと思う。</p>
菅議長	他にないか。
櫻田委員	<p>先程、野澤委員から防災センターの話があり、私は防災センターの話もしたが、もう一点は美術展示館、文化的な施設のことを申し上げた。</p> <p>基本的にはあそこに二つも三つも建物を作るという考えはない。集約してせいぜい建物は一つくらいで済ませて、空間はできるだけ確保したいというイメージで捉えているので、アイデアとしては言ったが、私の願望が深いのは美術関係に関する建物があった方が良くというのが、私の思いである。</p>
菅議長	他にないか。
木村委員	<p>単純な思いつきだが、青森にないものは何があるかというところ、青森の市内は平らなので少し高いところが欲しいと思う。</p> <p>それプラス、雪などをうまく活用しながらなど、高くなっ</p>

	<p>たり地下にいたり、何かそういうものが欲しい。</p> <p>今、櫻田委員が話したように、ハコはあまり多くなくてよくので、青森のヘソみたいなどころなので、西と東、北と南をそれぞれつなく広場というものが良いと思う。個人的な意見であるが。</p>
菅議長	他にないか。
小川委員	<p>鉄道については次回ということで、私は始めから言っているのが、そのまま皆さんの意見になっている訳であるが、西側、北側、それから、県有地、市有地、東側もあるが、個人的に地図を見て、北側を通過して、新町の方々には悪いが、新町通りがあるのに、何故ここに市で建物を持ってくるなど、いろいろなことをやるのか。新町通りの方が死んでしまう。私はいつもネガティブなことばかり言うが。</p> <p>北側の方は良い場所なのだが使い道がないと思っている。</p> <p>西側については花壇を楽しみながらやっている場所であるが、冬になると雪捨て場である。</p> <p>次回は交通の話になると思うが、建物を建てるのはハコモノの話になるが、果たしてそういう話をして、これで良いのかと思う。</p> <p>これからの少子高齢化を考えると、(南側の市有地の)ダスト部分を高齢化・少子化のために考えた建物とか、もっと良くした遊び場など、建物ばかりであるが、地下に防災の設備など、皆さんからもう既に意見は出ているが、北側はどう考えたら良いのか。</p> <p>見てはじめて分かったのだが、また同じ話になるが線路が邪魔になっていて、どうも使い道がうまくいかない場所だと思っている。</p> <p>今の交通の流れ、人の流れを見ると、八甲田大橋の下の自転車など人の流れは中央大橋の何十倍も通っている。北側をすぐ通れれば良いのだろうが、交通の人の流れというのは、観光通り、八甲田大橋の下のあの狭いところに通勤客、中央大橋を自転車で渡る人は数えるほどしかない。</p> <p>だから、ここをなんとか、県の所有地なのかもしれないが。</p> <p>大湊線も4本くらい走っているし、青い森鉄道も上下線合わせて54、5本走っている。そのほかに貨物も走っている訳だから、なかなかこれを地下に潜らせようとか、高架にしようとかいうのは到底できる話でもない。</p> <p>だから、ネガティブかも分からないが、皆でこれから北側をどうしようとか、西側をどうしようとか、ダストの部分、</p>

	<p>それから東側の部分を考えながら、次回の宿題にして持ってきた方が早いと思う。</p>
菅議長	<p>木村委員から提案があったが、平成 9 年の操車場跡地利用構想の中にあそこにシンボルになるようなものを作りたいということは書かれている。</p> <p>青森というのは、いろいろと歴史を読んでいるとかなりいい加減であるが、本町にあったとか、どこにあったとか、青い森があったということになっている。それがまちの名前の興りだということになっているが、それをいつの間にか削ってしまった。</p> <p>だから、ちょっとした丘というか、そういうものがあっても良いのではないかという木村さんの提案に私はまさしくそうだなという気がしている。</p> <p>青い森をもう一回市民の手で作りなおすことはできないだろうかということ、私は考えている。これは私の個人的な意見である。</p> <p>それからこれも私の考えであるが、福士委員が話していたが、本格的な美術館や本格的な音楽ホールなどは、大変な規模になってしまい、空間が死んでしまうような気がする。また、今様々出てきた機能などは、合築とか多目的なものにするとかで、かなり入れ込むことができるような気がする。あまり大きなものを作るのではなくても、子育て支援や美術の展示、音楽の練習場など、そういうものは可能なのではないかと気がする。</p> <p>だから、今出てきたものをこれは無理、これは無理ということではなく、これも入れ込めるかもしれないという議論をしていけるのではないかと思っはいる。</p> <p>他に、これも言っておきたいというものがあつたら。</p>
種市委員	<p>少し話が元に戻るみたいで、建設的ではないかもしれないが、あその土地では、雪国に合う住宅云々という話をしていたはずだった。</p> <p>民間に払い下げるのがダメということで、今こういう話になっている。</p> <p>私はあの時に、勿論、今話しているような建物を建てるのも良いが、民間でなく、青森市として、青森市の雪や寒さに対してどういう家が良いのかということ、を研究する施設をやった方がいいという考え方をしていた。</p> <p>皆さんの意見を聞いていると、誰もそういう話をする人がいなかったの、そういう話をするが。</p>



	<p>私がずっと考えていたのは、青森市の雪に耐えるような家というのはどういう家かという研究はいまだかつてなされていないと思う。</p> <p>先程も、話が出ていたが、青森市の危機管理の話であるが、危機管理課というのがあるだけ、という感じがしている。</p> <p>これは東京の大田区でやっているが、雨水を利用して防火する。あるいは、トイレの水に使うなどの研究がされている。青森の場合は雪ですれば良い訳である。</p> <p>そのような研究施設が必要なのではないかと話した。</p> <p>私は青森に合う住宅を研究するのは重要だと思っている。例えば、雪が落ちないなど。</p> <p>青森の人が隣と仲が悪いのは、屋根から雪が落ちてきたりして仲が悪いと言われる。</p> <p>雪を下ろさなくても自然に消えるとか、そういう研究施設も必要なのではないかと話している。</p>
菅議長	<p>先程、三浦委員からは新エネルギーの研究施設が必要だという話もあり、防災センターという中で雪国の関係も出てくるので、積雪寒冷地という中での暮らしのあり様についての研究、展示施設というのもあり得ると思う。</p> <p>良い発想だと思う。</p> <p>他にないか。</p>
野澤委員	<p>今、議長及び種市委員が話していたことはもっともである。</p> <p>ただ、今、柳川庁舎をタイアップして新しい技術の拠点という形で動かそうという動きがある。今の場合は、食品に関する技術から始まっているが、様々な施設を集約していく方向性になるのではないかという気がする。</p> <p>青森操車場跡地の選択肢としてはそういう機能があっても良いのではないかと話しているが、議論の中で大いに出して、ただ、その辺を視野に入れておかなければ、青森市の持っている土地及び建物の更なる利活用が図られなければならないと思って、思い出していたところである。</p> <p>あと、平成9年の利用構想に関しては、基本的にはあっている。ただ、この時点でだいぶ苦心したのだろうと。我々の委員会と一緒に話している。</p> <p>お手盛りになっている。方向性とすればこういうものがあるれば良いという形で言葉がずっと出ているが、私は櫻田委員と同じで、1つ、2つ、または議長が話していたような、複合的な、多目的なもので、カバーできるようなものにして、</p>

	<p>後は防災を含めた広いスペースを確保しながら、青森らしい、緑を意識した公園と、木を立てると木がじゃまになるかもしれないが。</p> <p>その中で、どういう建物及び公園になるにしても、青森がこだわっている雪や、環境共生型など、当初目指す新しい設備とか機能を利用した公共施設であれば、その方向性が見えてくると思っている。</p> <p>私は十数年前に考えたこと、議論したことにブレはないと思う。例えば、資源・エネルギー循環モデルゾーンという切り口で、低炭素型モデルタウンが出たが、市民の圧倒的な声で、宅地的な開発はしないということで、いったん元に戻っているが、今の時点で変化するのはさせれば良いし、決してまったくこの通りとは思っていない。</p> <p>だから、この中で重点的に考えて取捨選択すれば良いだろうと思う。</p> <p>ただ、それを前提にということではないが、それをさらに咀嚼してどうしようかというだけである。</p>
菅議長	<p>野澤委員がまとめてくれた。本日はいろいろな意見が出てきて、だいたいの方向性のイメージがまとまってきつつあるような気がする。</p> <p>今日の議論はこれまでにしておいて、次回、交通について議論して、3つが揃ったところで、全体を具体的に議論する、そのような展開にしようと思っている。</p> <p>次回は、交通について、財源の問題から、技術的に困難だという話まで色々出ていたが、最初からあれもダメこれもダメということではなくて、できればこういうものが良いということで議論して、そして、その次のまとめの方へ持っていきたい。</p> <p>よろしいか。どうぞ。</p>
櫻田委員	<p>私が気になっているのが、跡地の中で東側と西側部分、西側は一部暫定供用されているが、素案の中では将来的に中長期ではこうしたいという案もある。</p> <p>その西側と東側について、この場で意見交換というか、そういう場を設けた方が良いと思っているが、そういうのはどのタイミングでやられるのか、どのように考えているのか、そこを少し聞きたかった。</p>
菅議長	<p>市の素案は、あの辺は道路用地ということを考えている。それが良いという訳ではないが、私はそういうものだと思って触れてこなかったが、あのような土地だからこそ、こうい</p>

	<p>う利用が考えられるというようなものを、意見があれば今出していただければ思う。</p>
櫻田委員	<p>私がイメージするのは、一体となった活用ということで、例えば、ウォーキングやジョギング、そういうものを楽しんでいる人はたくさんいる。</p> <p>そういったことで東側も西側も一体となって、例えば、「これは何キ口を示す」など、そういったものがあると助かる。これがまず一つである。</p> <p>それから、西側の方を考えると、せっかく、それなりの幅のものがある。あそこの道路は非常に狭い。冬になると交通事情が悪くなる。予算の関係はあると思うが、早い機会にもう少し車道を広げてもらうなど。</p> <p>また、東側の方は線路と住宅の間、あそこはきっちり石が敷いてあるが、どういう意味で敷いてあるか分からない。あの部分をどう活用できるか、何かそういったところをせっかくの審議会なので、話をしてみたらどうかと思っている。</p>
菅議長	<p>他にないか。</p>
野澤委員	<p>私もそう思っている。前も言ったが、どんな公園にしようが基本的には人が出入りしやすくする必要がある、西だろうが、東だろうが、南北だろうが。</p> <p>その意味の中で西、東については非常に道路が狭い。冬は圧倒的に不自由している。それが大事ではないかという櫻田委員と同じ意見である。</p> <p>特に東側は本来ならば広いところが盛土になって、資材置場みたいになっていて、とても格好が悪い。おそらく仮の利用ということになっているのだろうが、全体の中で、景観的に配慮などを含めて利用法は議論しなければならないと思っている。</p> <p>あとは、これは、少し違う視点であるが、西側の旧機関区の辺りは、今現に、JRの施設及び色々な鉄道の施設がある。それらは我々に邪魔者扱いされているみたいなことになっている訳であるが、せっかくであるので、昔みたいに身近に見られるような公園にするとか、そういうものの視点がなければ。</p> <p>我々は今半分の土地の利活用の話をしている。JRや青い森鉄道を含めた貴重な鉄道施設というものを準公園なのか、何かしら身近にあるような公園ということでの幅の広げ方をしていけば、少しまた違う利活用が出てくるのではないかという気がしている。</p>

菅議長

子供たちが非常に喜びそうな話である。

今、これまで議論してこなかった、西側、東側の細い部分であるが、こういうものが、というものがあれば。勿論、道路として整備するのは言うまでもないが、それに絡めながら、何かないか。よろしいか。

それから、野澤委員からイメージとして出てきたのが中島公園の話ということで、私は見たことがないので弱いですが、前回、説明のあった長岡の防災センターと、子どもの施設らしいが、そういったもので構成しているものも面白いと思っている。

だいたい県庁所在地は、元々お城があったところが多く、城跡に図書館やいろいろな文化施設などが張り付いているというケースが多い。弘前もそうで、八戸も一部そういうものがあるが、青森はそれがない。

やはり青森のイメージを形作るようなものができれば良いと思う。非常に抽象的なイメージの話だが。

皆さんも話をしながら、どこかにそういうイメージを持っていると思う。

私は前々から青森は緑が少ないと思ってきた。市役所にその話を聞きに行ったら、戦災で焼けたとかそういうことを言って、そういう状態が続いている。

文化施設というのは、私のイメージだと、必ず緑の中にあるというイメージがあるのだが、青森はそういうものを置くことを前提にしないというか、郷土館、図書館もそうであり、緑の中に文化施設があるというそういう佇まいがあるというイメージがない。

私のイメージとしては、防災公園ということで緑ができるが、その中にあまり目立たない形で施設があって、多目的な機能があって、先程、研究施設とか積雪寒冷地の住宅のあり様、あるいは暮らしのあり様などそういう話があったが、単体の施設ではなくても展示施設のようなものがあるだけでも良いのかと思う。

そんなことを考えながら聞いていた。

他に何かこれだけは言っておきたいということはあるか、よろしいか。

次回、事務局の方で会議録をまとめてもらうので、振り返りながら交通の議論をする、交通の議論が終わったら、もう一回立ち返ってと、そんなストーリーでいきたいと思うので、よろしく願います。

5 閉会

次回会議は、12月19日に開催することとし、閉会。